



## 前澤友作さんからふるさと納税の寄附をいただきました！

日本の民間人として初めて国際宇宙ステーション（ISS）に滞在された前澤友作さんが昨年行った「2021年 前澤友作ふるさと納税」企画に応募したところ、全国 87 自治体の 1 つとして肝付町が選出されました。そして、本町への個人によるふるさと納税として最高額となる 500 万円の寄附をいただきました。

この寄附に対し、内之浦小学校と内之浦中学校の児童生徒が感謝の手紙をお送りしたところ、前澤友作ふるさと納税事務局より御礼のご連絡がありました。

応募にあたり、「観光資源を活かしたスペシャルな観光体験」として内之浦宇宙空間観測所を利用した未来の宇宙旅行を提案しました。貴重な財源として本町の観光振興に利用させていただきます。多額の寄附に心から感謝申し上げます。

## 地域プロジェクトマネージャーが町へ着任しました！

令和 3 年度より総務省の新たな事業として始まった「地域プロジェクトマネージャー」制度を活用し、移住促進や空き家対策等のプロジェクトマネージャーとして 3 月 1 日から仲西康至さんが着任されました。

### ○仲西さんからのご挨拶○

皆様、初めまして、大阪から来ました仲西<sup>こうじ</sup>康至と申します。今回、ご縁があり、肝付町でお仕事をさせていただくことになりました。私は、以前、北海道深川市（肝付町と同じような人口）で、移住促進や空き家対策の仕事をしていました。

微力ではありますが、これまでの経験を活かし、地域の活性化に尽力していきたいと思っております。少々、オールド・ルーキーではありますが、皆さんどうぞよろしくお願いいたします。



▲ 仲西さんは企画調整課の窓口に常駐しています。



## 高山准看護学校 第 53 期生卒業式を実施しました

3 月 3 日、町文化センターにて、高山准看護学校第 53 期生の卒業式が行われました。

男子 2 名、女子 8 名の計 10 名が決意を新たに学び舎を後にしました。

卒業生の井上 裕美子さんは、人生で 27 年ぶりとなった学生生活を振り返りながら「初めてのことばかりでつらいこともあったけれど、笑いの絶えないクラスの雰囲気や、ずっとサポートしてくれた教職員の方々、支えてくれる家族の存在のおかげで、笑って学生生活を送ることができました。

勉強ができる環境を与えてくれたこと、何より大切な家族が健康でいてくれたことに感謝します。」と周囲への感謝を語りました。